

よく改善されて事故の減少、乗客——即ち諸賢への便宜の徹底を計るべく改されたのです。處が會社では何と思つたかその労働組合を恐れ狼狽してその組合の擴大を防ぐべく組合の爲に盡力して居た長野隊長、羽鳥隊長、北殿助役を誅首しました。諸賢!! 唯この一つの事實だけでも會社が如何に横暴極りなきものかがはつきり解るのである。會社をして今日めらしめた原動力たる伊電従業労働者の爲に郡民諸賢の便宜の爲に働く人は會社にいつて何で都合が悪いでせう。諸賢に對する會社の誠意は何處にあるのでせう?

その三名の誅首問題で伊電従業労働者は會社と戦ひ處に角労働者の主張を入れさせました。しかしその復職期限の六ヶ月後の結果は實に意外とするものでした。それは労働組合の發表の如き結果となりつゝに同盟罷業は決行されるに至りました。

伊電従業労働者の要求は今日労働者として望む最底限度のものであり少しの無理もない事でありませう。實に當然過ぎる程當然の事でありませう。賢明なる郡民諸賢も當然だと思はれる事と信じます。しかし諸賢よ、その最底限度の要求をすら會社は容れないのです。それに對して労働者の對抗は一つに團結、罷業しか他にないのであります。賢明なる伊那郡民諸賢よ、この労働者の地位を諒せられよ。

今や伊電従業労働者は皆様の不便に對して悲しみつゝ横暴極りなき會社と闘つて居ります。その戦ひは以上の如く労働者が人間らしくならうとする戦ひであると同時に業務上の完全を期さうとして會社に對する要求貫徹の叫びであります。四百餘の罷業團は今堅い結束を以つてあらゆる苦難を闘ひつゝその目的達成に努めて居ります。

それに對して會社はあらゆる切崩を構じつゝあります。あらゆる手段を以て労働者の地位をおとし入れやうとして居ります。然し労働者は郡民諸賢の方ある應援の下に尙初志の貫徹の爲にその壓迫に耐へて闘つて居ります。而して今や罷業團の血は高潮に達せんとして居ります。その熱は横暴なる會社に對して赤裸な戦を挑んで居ります。その血と熱とを何處に捨て去れば良いのか? 最早最も危険なる程度まで進まうとして居ります。いやもう進みつゝあるのであります。

賢明なる伊那郡民諸賢!! 今状態は諸賢の公平なる批判を要求して居ります。安い賃金で酷使しながら労働者の一年の収入の何倍かの交際費を使つて會社は儲からぬと言ふ重役達の専制極りなき會社に對して諸賢が公正の批判をして下さい。そして會社と労働者の何れが正當であるかをはつきり見て下さい。その時労働者が何故罷業をせねばならなかつたかが解ると思ひます。涙を呑んで皆様に御不便を與へて居る罷業の意味が解つて戴けると思ひます。

總ての責任は會社にあるのです。會社は今日早速労働者の要求全部を入れて一時も早く元の状態にもどし郡民諸賢の御不便を取りのぞく義務があるのです。しかし横暴なる會社にその誠意が何處にあるか理解に苦しむ状態です。罷業は今危険状態にあり尙續く運命にあります。そしてあらゆる犠牲を拂つて闘ひつゝある罷業労働者も焦り氣味になりつゝあります。

労働者の勝敗は一に郡民諸賢にかかれて居ります。諸賢の深い理解と熱ある同情は私共の兄弟伊那電六百の従業労働者の人間的生死を決するものがあります。その六百の労働者は諸賢の子弟であり、親族知己であります。横暴極りなき會社への闘ひの熱は正に警察権の發動をさへ招來するの状態となつたのです。公平なる解決の一日も速かならん爲に力ある伊那郡民諸賢の御後援をお願ひする次第であります。

諏訪郡伊那電争議應援團

隣郡にある私達のこの叫びが諸賢の幾分の注意でも促し理解ある御後援となつて現はれる事を一重に希ふ次第であります。いや懇願する次第であります。